

令和7年 山岡記念杯

<組合せ及びスタート時間>

1回戦 (琵琶湖→栗東)

7月13日(日) 18H.M

2回戦 (琵琶湖→栗東)

7月20日(日) 18H.M

準決勝 (琵琶湖→栗東)

7月21日(月) 18H.M

決勝 (琵琶湖→栗東)

7月27日(日) 18H.M

組	時間	予選	氏名	PHC
1	8:00	1	宇野 彰一	9
		16	佐藤 弘幸	11
2	8:05	8	眞田 智史	14
		9	松吉 雄大	12
3	8:10	4	川上 恒基	6
		13	青木 裕彦	13
4	8:15	5	伊藤 敏夫	18
		12	繁本 卓哉	13
5	8:20	2	勝原 司朗	7
		15	池端 典子	13
6	8:25	7	佐々木 純一	15
		10	愚川 昌宜	12
7	8:30	3	小林 毅圭也	8
		14	北島 京平	12
8	8:35	6	横松 唯史	17
		11	桂川 浩	11

7:00スタート

宇野 彰一
(4 - 2)

眞田 智史
(5 - 3)

青木 裕彦
(5 - 4)

繁本 卓哉
(20H 1UP)

勝原 司朗
(7 - 6)

愚川 昌宜
(1UP)

北島 京平
(不 戦 勝)

横松 唯史
(7 - 5)

7:00スタート

眞田 智史
(3 - 2)

青木 裕彦
(4 - 2)

愚川 昌宜
(4 - 2)

横松 唯史
(6 - 4)

横松 唯史
(4 - 2)

横松 唯史
(4 - 2)

横松 唯史
(4 - 2)

横松 唯史
(4 - 2)

ランナースアップ

青木 裕彦
(4 - 3)

優勝

横松 唯史
(3 - 2)

■競技特別規則

- マッチプレーにおいて、2人のプレーヤーのコースハンディキャップの差(100%)をハンディキャップの多いプレーヤーが受け、ハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。
- 両者のハンディキャップ差が奇数の場合は、アウトコースに最終のハンディキャップを付与する。
- 1番ホールの打順はコイントスにより決定する。
- プレー進行の為、ホールとホール間の練習は禁止とする。この違反についての罰は次のホールの負け。
最終ホールで違反があった場合はそのホールの負け。但し、「ホールの結果が決定したプレーヤーがそのホールを終える為に行ったストローク」は練習ストロークではない(規則5.5a)。
 - 通常のプレーによるそのホールのホールアウトまでは、プレーを続けることができる。
 - コンシードされた後、ストロークする事が出来る(コンシードは認められる)。
 - ①及び②は練習ストロークとはみなさない。
- マッチプレーにおいて、規定ホール数に達するまでに勝者が決定した場合は、その後のプレーを禁止する。
- 9ホール終了時、プレーの進行に支障がない範囲で指定練習場の使用は認める。
- 欠席者がした場合、選手の追加はしない。なお、この場合対戦者は不戦勝となる。

■注意事項

- コースの先行権を有するが、他のプレーヤーに対する配慮として、プレーは迅速にハーフ1時間45分を目途に、前の組との間隔を開けないようご注意ください。
- 他の組をパスする際は、エチケット・マナーとして必ずパスの挨拶をお願いします。
- マッチプレーに於いてオールスクエアに終わった時は、スタートコース1番ホールより勝敗の決するまで試合を続行する。
- 欠席の場合は必ず事前にお知らせください。スタート30分前にはご来場ください。